

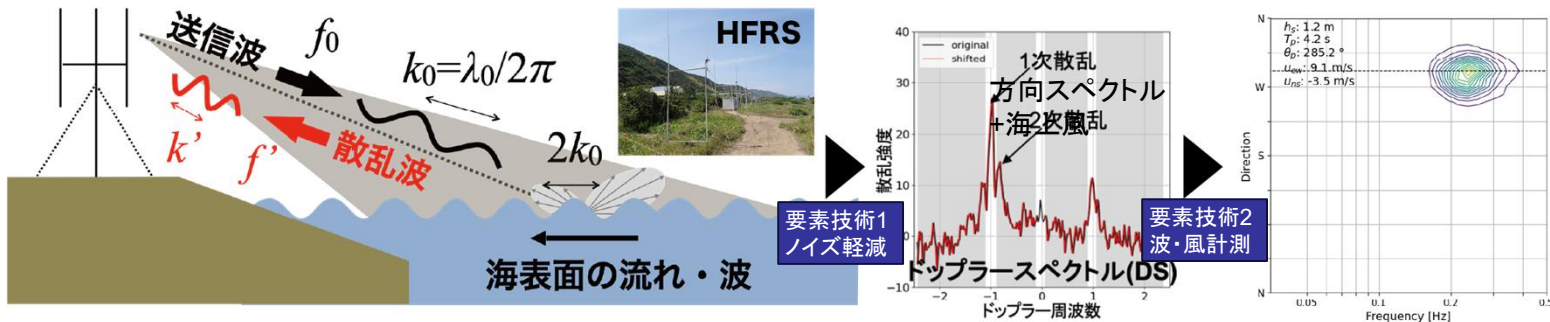
短波海洋レーダシステムによる広域・高密度な 波浪・海上風観測の事業化に関する研究

研究代表者：愛媛大学 片岡智哉 研究期間：令和7～8年度

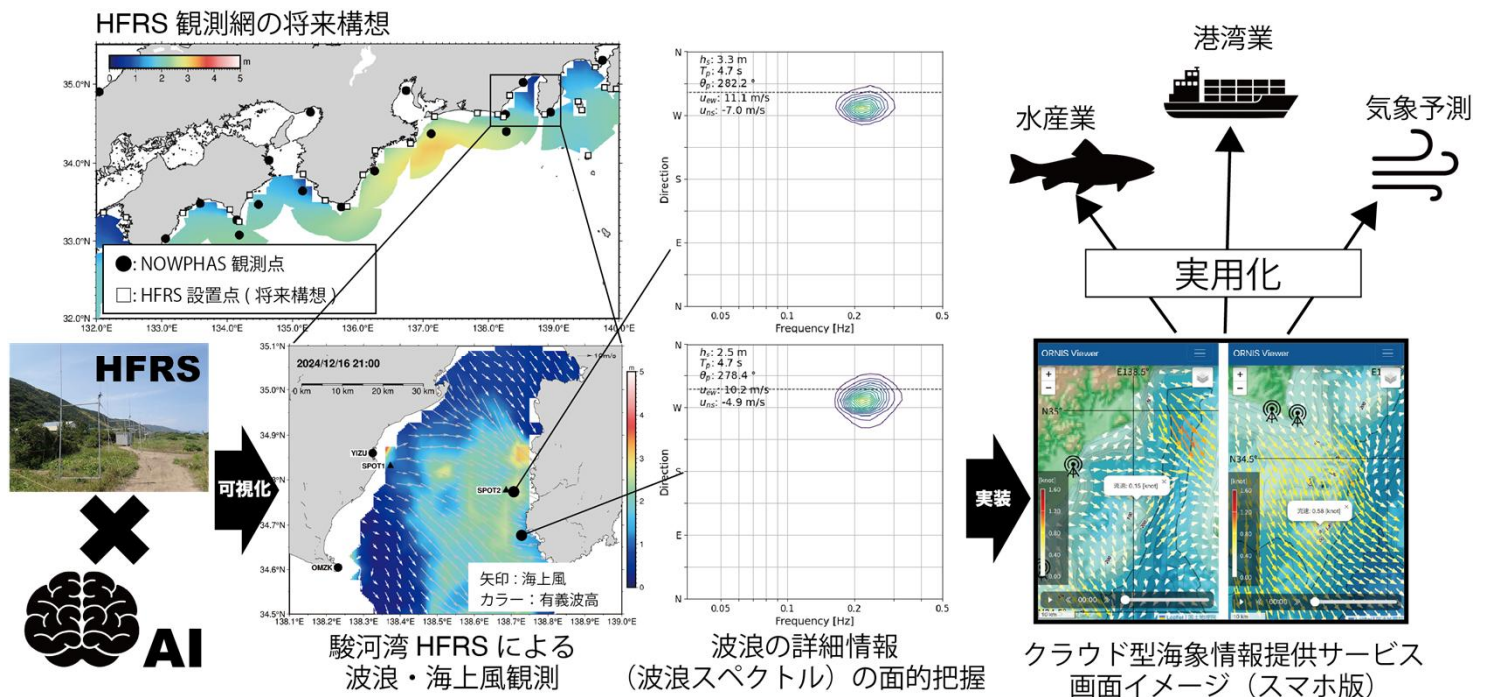
研究課題の背景と目的

- 我が国の輸出入量(重要ベース)の99%は、海上輸送 → 港湾は国民生活と産業の根幹を支える重要インフラ
- 南海トラフ巨大地震津波や気候変動に伴う台風の巨大化の懸念が拡大 → 国力強化において沿岸域における防災・減災対策も必須

→ 沖合での海洋波の高度化に資するため、陸上設置の短波海洋レーダシステム(High-Frequency Radar System: HFRS)を用いた**面的な流況・波浪・海上風**を提供する**クラウド型海象情報提供サービス**を実用化する



研究課題のプロジェクト概要



ORNIS株式会社のビジネスモデル～海洋レーダで日本の海を安全で豊かに～

